

## 1998 「植村直己冒険賞」 受賞者



関野吉晴  
東京都調布市在住

### 人類の旅 5万キロを探る グレートジャーニーで冒険精神発揮

#### 趣旨

400万年前の人類の進化だが、果たして人類の進化とは何であったのか。本当に人類は、進歩したといえるのか。そんなことをじっくり考えてみたい。

東アフリカで誕生した人類が、アジアからベーリング海峡を渡り、南米に拡散していった歴史「グレートジャーニー」を、逆方向に踏破する7年をかけての壮大な計画。

大昔の人々が、旅路で感じた暑さや寒さ、肌に感じる風の感やその匂い、土埃や雨滴や雪片。それらを感じながら、そしてそれらに触れながら、ゆっくりと人類の旅路をたどる。

だから、5万キロすべてを徒歩や自転車、カヌーなど脚力と腕力だけに頼る移動である。

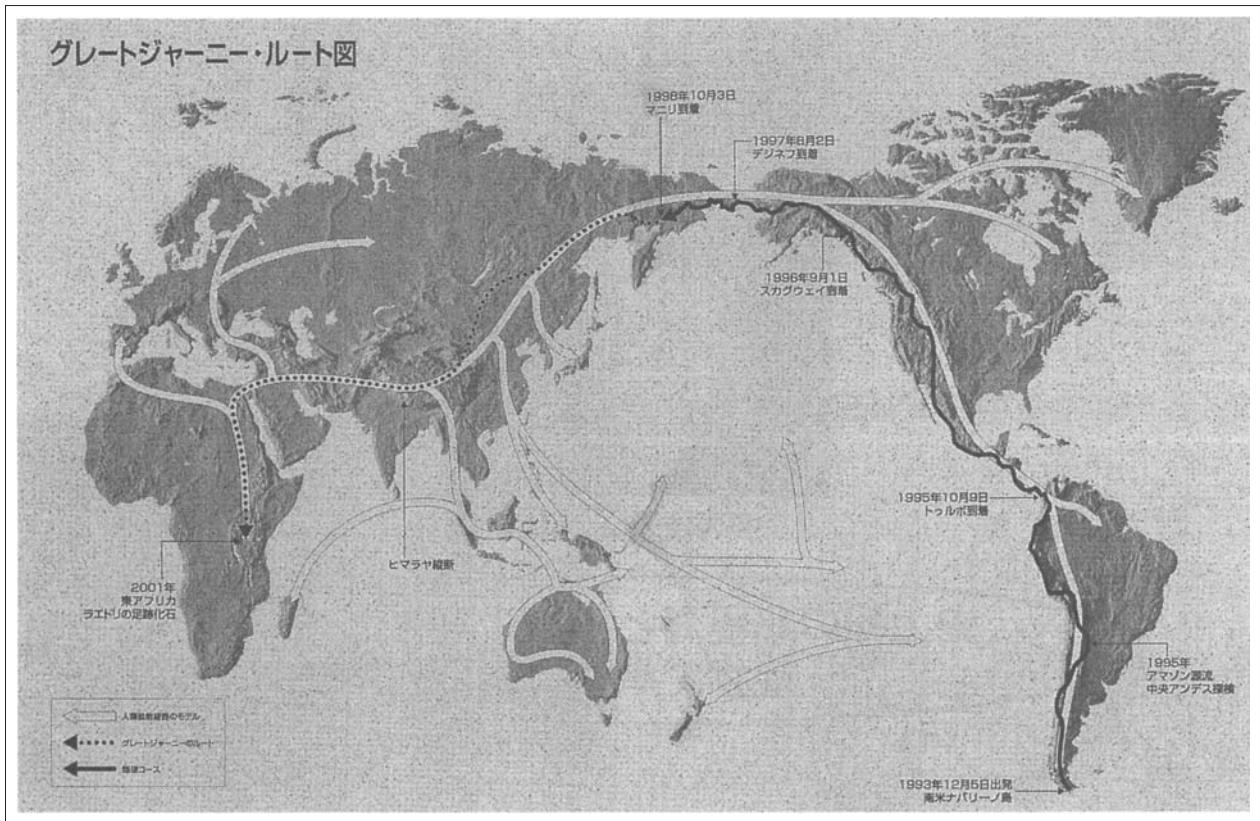


ユーコン川中流域を折畳み式のカヤックで下った（アラスカ）



アラスカ西部を犬ソリで行く

## 冒険内容



## 工夫、独創性

グレートジャーニーは、ただ単に人類拡散の道筋をたどることだけが目的ではない。その土地その土地で、じっくり時間をかけたい。途中で立ち寄った村が気に入れば、1ヶ月でも2ヶ月でも滞在したい。村人と同じ物を食べ、同じ屋根の下で眠ってみたい。記録にチャレンジという気はない。長い旅に出た。そんな気持ちだ。

## 1998 冒険情報一覧表

	山	縦横断	海	極地	空	川	その他	計
個人活動	25	35	4	0	1	3	8	76
団体活動	103	8	3	1	1	11	5	132
合計	128	43	7	1	2	14	13	208